

( 仮 訳 )

ロバート・ガブリエル・ムガベ・ジンバブエ共和国大統領の  
公式実務訪問に際しての日本国とジンバブエ共和国の共同声明

1. ジンバブエ共和国のロバート・ガブリエル・ムガベ大統領閣下及び同令夫人は、2016年3月27日から31日まで、日本国政府の招待により日本を公式実務訪問した。
2. 安倍晋三日本国内閣総理大臣とムガベ大統領は、2016年3月28日に東京で二国間の首脳会談を行った。安倍総理大臣は、昨年(2015年)の第3回国連防災世界会議出席に続くムガベ大統領の訪日を歓迎するとともに、アフリカ連合(AU)議長及び南部アフリカ開発共同体(SADC)議長としての最近のムガベ大統領の活躍に敬意を表した。

<二国間の協力>

3. 両首脳は、両国が共有する普遍的価値を支持し、二国間及び国際場裡における日・ジンバブエ間の友好と協力関係が長きにわたり醸成されてきたことを歓迎するとともに、両国関係を一層強化していくことで一致した。その観点から両首脳は、最近の両国間のハイレベルの要人往来を歓迎し、引き続きあらゆるレベルで二国間対話を行っていくこと、また、経済的、技術的、その他の協力について協議メカニズムを構築していくことで一致した。
4. 安倍総理大臣は、「ジンバブエの持続可能な経済社会移行指針(ZIMASSET)」を含むジンバブエ政府による経済再建努力を高く評価し、昨年(2015年)の「ニャコンバ灌漑事業のための灌漑開発計画」(供与限度額17.91億円(約1500万米ドル))の無償資金協力に続き、ジンバブエによる開発努力を引き続き支援していく旨を表明した。
5. 安倍総理大臣は、ジンバブエに対する新たな「国別援助方針」を策定したこと、並びに同方針の下、(1)ジンバブエのインフラ整備等経済社会開発のための無償資金協力(供与額6億円(約500万米ドル))及び(2)ジンバブエの南北回廊にとって重要なジンバブエとザンビアをつなぐ道路の改修(拡張)のための協力準備調査の実施が決定された旨述べた。また、安倍総理大臣は、干ばつによるジンバブエの深刻な食料不足に対応するための支援

の検討が開始される旨述べた。ムガベ大統領は、日本の協力を謝意を表明した。

6. 両首脳は、鉱物資源分野で、昨年9月にジンバブエ政府と石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）との間で署名された覚書を歓迎した。また、両首脳は、両国間のこの分野での人材育成等の協力が進展したことを歓迎した。
7. 両首脳は、日本とジンバブエとの間の貿易・投資の促進のために両国政府が努力することで一致した。安倍総理大臣は、ジンバブエにおける経済特区の整備に関する進展を歓迎した。ムガベ大統領は安倍総理大臣に対し、ジンバブエ政府によるビジネス環境改善のための取組とともに、現地化政策について説明を行った。ムガベ大統領は、日本の技術や製品を高く評価しつつ、日本からジンバブエへの投資を呼び込むための取組を継続する決意を述べた。
8. 両首脳は、相互理解のため人物交流が重要であるとの認識を共有し、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABE イニシアティブ）、青年海外協力隊、国際協力機構（JICA）研修、スポーツ交流等を通じた人物交流を拡充していくことで一致した。この関連で両首脳は、東京外国語大学とジンバブエ大学との間の覚書が作成されたこと、及びジンバブエの教員に日本政府の教員研修留学生プログラムへの応募の機会が開かれたことを歓迎した。
9. 安倍総理大臣はムガベ大統領に対し、日本の「積極的平和主義」並びに地域と国際社会の平和と安定及び繁栄に貢献するために取組を強化するとの日本の意志を説明した。

#### <国際場裡での協力>

10. 両首脳は、次回のアフリカ開発会議（TICAD）が本年8月に初めてアフリカで開催されることを歓迎し、TICAD VIの成功のために両国が協力を強化することで一致した。安倍総理大臣は、TICAD VIはアフリカの開発アジェンダ、アジェンダ2063、を後押しするための重要な機会であり、人間の安全保障の理念の下、官民連携及び民間セクターの関与を強化し、質の高いインフラ投資や人材育成という日本の特色を生かした具体的貢献を示していくとの考えを表明し、TICAD VIでのムガベ大統領の貢献を期待している旨述べた。ムガベ大統領は、日本の貢献を高く評価し、安倍総理大

臣の招請に応じT I C A D V Iに出席する旨述べた。

- 1 1. 両首脳は、国連安全保障理事会（安保理）が21世紀の国際社会の現実を十分に反映していないことを再確認するとともに、安保理の実効性、透明性及び代表性を向上させる安保理改革はとうに実現されて然るべきであり、これを迅速に進めていくことが重要であるとの認識を共有した。また、両首脳は、安保理改革に関する政府間交渉での最近の進展を踏まえ、意思疎通と協議を進めることを通じてプロセスの前進を図る重要性を強調した。また両首脳は、国連で最も代表性のある機関としての総会の重要性を再認識した。
- 1 2. 安倍総理大臣とムガベ大統領は、気候変動、テロ対策、持続可能な開発のための2030アジェンダの実施等、国際場裡における幅広い諸課題に取り組むための協力を強化する必要性を認識した。また、両首脳は、両国の平和維持活動に対する貢献に留意し、世界の平和を促進するための取組の強化の必要性につき一致した。

#### <結び>

- 1 3. ムガベ大統領は、大統領及び一行に対する温かい接遇につき、安倍総理大臣及び日本国政府に謝意を表明するとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功を祈念する旨述べた。

2016年3月28日、東京にて

安倍 晋三  
日本国内閣総理大臣

ロバート・ガブリエル・ムガベ  
ジンバブエ共和国大統領